

一般検査の potential pitfall に 備えよう

foreword

一般検査は日常診療における最初の判断材料として、患者の状態を迅速かつ正確に把握する重要な役割を担っています。しかし、検査原理や検体特性の理解不足、採取条件や前処理の違い、観察・判定の技術差などにより、思わぬ“pitfall”に直面することがあります。こうした見落としや誤判定は、診断や治療方針に大きな影響を及ぼす可能性があります。

本特集では、尿定性・尿沈渣、髄液・体腔穿刺液、寄生虫検査について、現場で生じる代表的な pitfall とその回避策を整理します。検査の背景にある理論と、実践で活かせる視点をあらためて確認することで、検査精度の向上と、より確実な臨床支援につなげていただければ幸いです。

(編集部)

-
1. 尿定性検査のピットフォール
 2. 尿沈渣検査のピットフォール
 - 1) 血球類に関するピットフォール
 - 2) 上皮細胞類に関するピットフォール
 - 3) 塩類・結晶類に関するピットフォール
 3. 髄液・体腔穿刺液検査のピットフォール
 4. 寄生虫検査のピットフォール
-